

6 規模決定（定員の見直し方針）

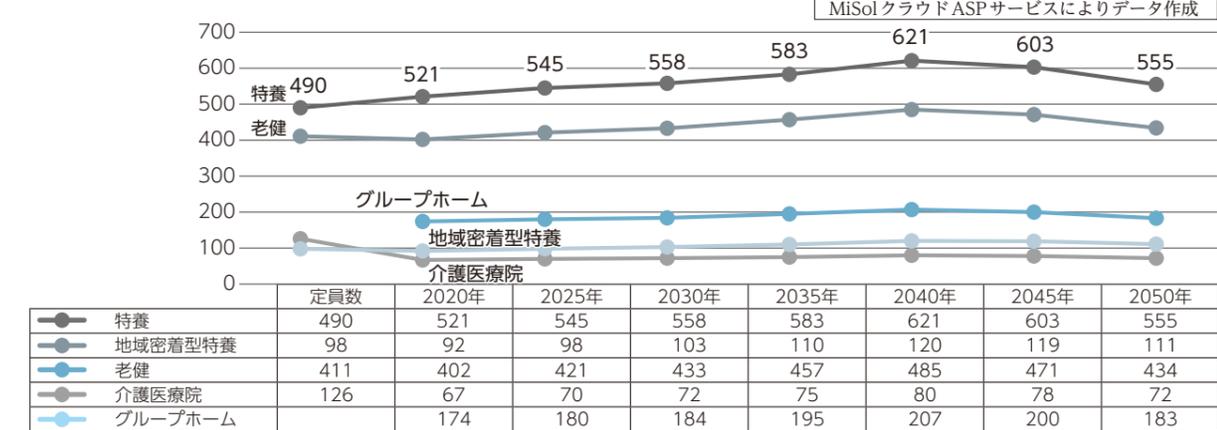
サービス	現在定員	当初計画	定員の見直し方針	理由
長期入所	110人	80人	70人程度（多床室60人程度+個室10人程度）	2035年までの需要維持とその後の大幅な需要減少に対応するため
短期入所	10人	6人	2人程度+長期の空床利用	現在の需要を勘案し、空床利用で長期入所の稼働率を高めるため
デイサービス	30人	20人	廃止	民間事業者には十分な受け皿があるため

7 規模決定の根拠【長期入所】

① 介護需要予測（2020年実績=100）



② きくすい荘を中心とする10km圏内 介護事業種別要介護者数【将来推計】



8 規模決定の根拠【デイサービスセンター】

デイサービスセンターの利用状況	定員	利用実績	差
①菊水地区民間事業者	72	44	28
②和 water 町デイサービスセンター	30	13	17
②を廃止した場合の見込み	72	57	15

(R5年5月聞き取り調査) ※民間事業者には十分な受け皿があると考えます。

9 事業全体スケジュール案

内容	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度… (2028年度…)	令和13年度 (2031年度)
財政計画の見直し	→							→
経営改革の取組		コンサル指導	→					
説明責任 町民の理解	繰入金の理解 民営化の理解	→						
民営化の検討	先進地 視察研修	身分保障の研究 公設民営の研究	職員の意向調査 合意形成	人材育成 教育研修	人材育成 教育研修	指定管理者 制度導入 (目標)	…	民間譲渡(目標)
施設設備	用地買収 埋蔵文化財 試掘調査	地質調査 造成測量調査 建築設計	造成工事	建築工事 解体等設計	解体工事 造成工事	供用開始		

特別養護老人ホームきくすい荘施設整備事業 基本構想の概要について

問 きくすい荘 庶務係 ☎0968・86・2177

町では、著しい施設設備の老朽化と耐震性能不足の課題を解決し、入所者の安心安全な環境を整備するため、令和5年7月に「施設整備事業基本構想」を策定しました。今後、円滑に施設整備や運営を行うための基礎資料として活用しますので、その概要についてお知らせします。

1 基本理念及び基本方針

基本理念	基本方針
①住み慣れた地域で自宅にいるような自分らしい暮らしができる施設	<ul style="list-style-type: none"> 自宅にいるような居心地の良いやすらぎの空間 家族が最後まで寄り添える看取りの空間 採光と換気に配慮した衛生的で窓のある居室 多床室でもプライバシー確保可能な居室 他の入所者との交流が可能な共有空間 地域とつながる地域交流等で集い楽しむ多目的空間
②安心安全な施設	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害等の災害に強い施設 優先度の高い業務が継続可能な施設 防犯防火等の高いセキュリティの確保 入所者の安心安全を見守るカメラやセンサー等の設置 感染や食中毒に強い施設 災害時要援護者福祉避難所としても機能する地域交流等の多目的空間
③機能性と経済性に配慮した施設	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザイン シンプルデザイン 汎用性が高い製品活用等による低コスト化 入所者の立場に立った暮らしやすい施設（食事・排泄・入浴・睡眠等） 介護（看護）に適した動線が確保される施設 維持管理しやすく維持管理コストが抑制可能な施設 省エネルギーに配慮した施設 将来の民営化の足かせとならない活用可能な補助金で財源を確保
④民営化や時代の変化に対応可能な施設	<ul style="list-style-type: none"> 従来型居室を将来的にユニット型個室に転換可能な居室と共有空間 特養以外の他のサービスにも用途転換可能な施設 民間事業者が経営したいと願う施設 ICTやWi-Fi環境が整い、科学的介護の実践が可能な施設

2 町における特養のニーズは、『個室的な従来型多床室』です。

※従来型多床室（間仕切りのある2人部屋）を基本とし、従来型個室を一部配置します。
理由
①料金が安いから。（ユニット型個室は居住費が高いです。）
②間仕切りを設けることでプライバシーを確保することができます。
③ユニット型個室よりも少ない人員基準で良いため、人材確保が比較的容易です。

3 目指す介護サービス

①入所者の立場に立った安くて良質な個別ケア
～個室化した従来型多床室における最大限の個別ケアの推進～
②隣接する町立病院と連携した安心安全な診療体制
～介護と看護の一体的ケアの推進、看取りの充実～
③地域に開かれた施設
～地域交流スペースでのお茶の間筋トレ、相談会、認知症カフェ、福祉避難所など～

4 目指す個別ケア

笑顔、優しさ、思いやり 入所者本位で その人らしい暮らしに尽くす

5 施設の位置、配置及び規模等

- ①位置 和 water 町江田4143番地一帯
- ②面積 約6,000㎡
- ③配置 現施設の町道向かい（南側）に新施設を配置、町立病院と引き続き連携可能な配置とします。
- ④規模・構造等
 - ア 延床面積3,300㎡程度
 - イ 階数 3階建てを基本とする。
 - ウ 構造 鉄骨造又は鉄筋コンクリート造
 - エ 定員 長期70人程度、短期2人程度（長期の空床利用も有り）
- ⑤総事業費（概算）約20.6億円